

安全の為に必ずお守りください

警告

- DH-2R30-J ハブダイナモの対応車輪は 26～28 インチで、DH-2R30-JC の対応車輪は 20～24 インチです。
DH-2R30-J は 26 インチ未満、DH-2R30-JC は 20 インチ未満の自転車に使用されますと、ブレーキが効きすぎて車輪がロックし、バランスを崩す等により転倒する恐れがあります。
- DH-2R30-J/DH-2R30-JC のハブ体には、ブレーキの効きすぎを制御するパワーモジュレーターが内蔵されています。このパワーモジュレーターは、ある一定のブレーキ力に達すると、それ以上のブレーキ力が出ないように制御する装置です。
パワーモジュレーターの使用推奨範囲は、自転車総重量（自転車＋乗員＋荷物）が DH-2R30-J の場合は 65～120kg、DH-2R30-JC の場合は 35～65kg です。自転車総重量が推奨範囲より重い場合には効き不足、軽い場合は効きすぎて車輪がロックし、転倒等の可能性がありますので、パワーモジュレーターの機能特性を充分ご理解、ご体験されたうえでお使いください。
パワーモジュレーターは、車輪のロック防止装置ではありません。
- 製品を取付ける時は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品を使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をすることがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- 夜間走行時にはランプの点灯の確認をしてください。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

注意

ハブダイナモは、発電量が高くなっています。走行中、あるいは車輪を回転させた状態で、絶対にハブダイナモの接続端子に触らないでください。感電する恐れがあります。

使用上の注意：

- ランプの取扱い説明書も合わせてよくお読みください。
- DH-2R30-J/DH-2R30-JC の場合は、ローラーブレーキの取扱い説明書「フロントインター M ブレーキシステム」も合わせてよくお読みください。
- 前フォークエンド部の平行度を確認してください。著しく平行度が出ていない場合、ハブ軸の変形によりハブダイナモ内部で、干渉音が発生することがあります。
- ハブダイナモは、必ず接続端子のある方を進行方向の右側にし、前フォークに取付けてください。もし左側に取付けると、走行中に回転の異常が発生することがあります。
- ハブダイナモの接続端子のサイズは、ランプ側(小)/フレーム側(アース側)(大)と異なりますのでご注意ください。
- ハブダイナモの接続端子が、確実に結線されていることを確認したうえでご使用ください。
- ハブ内部は分解しないでください。
- ハブの内部には注油はおこなわないでください。グリスが流れ出したり通電不良の恐れがあります。
- ハブダイナモは、ハブの内部に磁石が入っているため、タイヤ回転がわずかに重くなっています。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。

CE SI-2YV0A-004

ハブダイナモ

ご使用方法

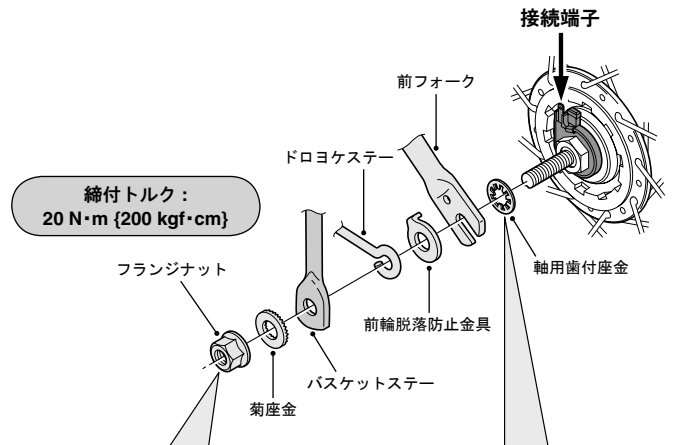
仕様

モデル No.	DH-2R30-J	DH-2N35-J	DH-2N35-JW
車輪	26～28 インチ	24～28 インチ	
電圧/出力	6V-2.4W		

モデル No.	DH-2R30-JC	DH-2N35-JC	DH-2N35-JWC
車輪	20～24 インチ		
電圧/出力	6V-2.4W		

前車輪の取付け

ハブダイナモの接続端子のある方を進行方向の右側にし、ハブの接続端子をバケットステアまたは前フォークに沿わせ、上向きにセットして下図の順に取付けます。フランジナットの固定後は、接続端子を無理に回さないでください。無理に回すと接続端子の破損や接続端子内部の電線の断線が発生することがあります。



ご注意：

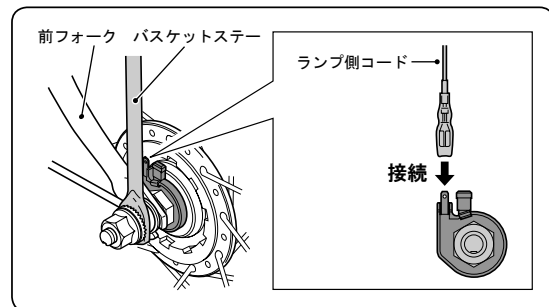
フランジナットを締付けるとき、片側を集中的に「締め付け」または「ゆるめ」を行うと、ハブ軸が強制的に回されてロックナットがゆるんだり、締め込んだりしてしまいますので左右交互に締付けてください。

ご注意：

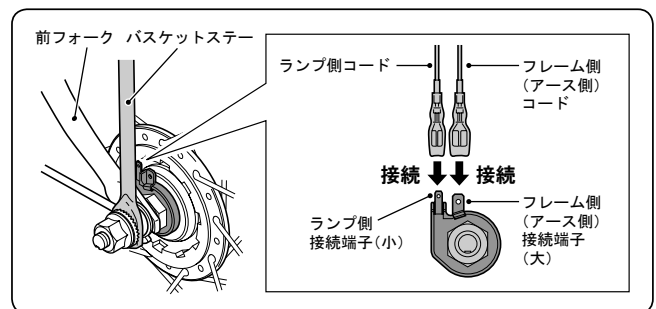
軸用歯付座金が前フォークの塗膜を突き抜けていることを確認してください。もし軸用歯付座金が塗膜を突き抜けていない場合、コード1線式ランプでは点灯不良の原因となりますので、塗膜を若干削り取ってください。

ランプの接続

＜コード1線式ランプ＞



＜コード2線式ランプ＞



※フレーム側（アース側）接続端子にカバーが付いている場合は、カバーを外して接続してください。

この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。

※取扱い説明書は以下にてご覧いただけます。<http://techdocs.shimano.com>



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ

堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577